

努力賞
(子どもの部)

「守るゆづき」

荒川区立ひぐらし小学校三年

上原 音々子

やなぎ田先生、こんにちは。

わたしは「マックマウスさん」という本をえらびました。なぜならレオ・レオ二さんの本が好きだからです。

このお話はのねずみのなかまになったまちねずみの話です。

わたしが心にのこった場面はマックマウスさんになったティモシーがのねずみのスピニーをねこから守った場面です。なぜなら、ティモシーがゆう

気をだしてこもり歌をうたってねこをねむらせて二人でにげたからです。

自分にも同じような体けんがあります。それは、友だちがいじめをうけているときわたしがいじめてる子をちゅう意していじめられている子を守ったことです。なぜ守ったかという問いにめられた子が自分だと思うとても悲しいからです。

やなぎ田先生は友だちを守ったことや守ってくれた体けんはありますか。守ったときどういう気持ちになりますか。守ってもらったときどう思いますか。わたしはいじめを見たらやな気持ちになります。だからそんなときゆう気を出して守ってあげたいと思います。